



日本語と日本文学

第一号

-
- 「くに」の語源馬渕 和夫…(1)
「聖家族」試解西原 千博…(10)
山上憶良嘉摩三部作の成立.....岡内 弘子…(18)
——「紅の面の上に」を中心として——
記録体における形式名詞「由」.....小川 栄一…(28)
同音語の用法——「温かい」と「暖かい」——吉村 弓子…(47)
西尾実国語教育論の探求.....桑原 隆…(57)
——島木赤彦の教育論との関係について——
日・タイ語のテンスとアスペクトの対照および教授法に
関する一考察.....ラッチャニー・ピヤマーワディー…(左1)
-

昭和 56 年 6 月

筑波大学国語国文学会



投稿規定

一、投稿論文は三十枚程度。

二、次号原稿〆切は昭和五十七年二月末日。

三、原稿送り先

305 茨城県新治郡桜村天王台一―一―

〒 筑波大学文芸・言語学系事務室内

『日本語と日本文学』編集委員会

編集後記

筑波大学国語国文学会の機関誌「日本語と日本文学」第一号をお送りする。本学会を構成するのは、日本文学・日本語学・応用言語学・国語教育・日本語教育の五部門にわたるスタッフと在校生であり、また、本学会にかかわる卒業生や前スタッフであるが、本誌は広く国語国文学界にも開放されよう。第一号は、五部門全体に及ぶ編集を考え、一応学内から選んだが、次号からは自由な参加を期待したい。

昭和五十六年五月二十五日印刷
昭和五十六年六月 一日発行
第一号

305 茨城県新治郡桜村

〒 筑波大学文芸・言語学系内

編集・発行 筑波大学国語国文学会

代表者 馬 渕 和 夫

発行所 (有) 笠 間 書 院

101 東京都千代田区猿樂町二―一五

〒 電話〇三(二九五)一三三(代)

振替口座 東京 一五六〇〇二